

2020年度事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 心澄

1 事業の成果

前年度に引き続き継続できた事業として、長崎県子ども若者総合相談センター（以下ゆめおす）受託、及び、就労継続支援B型（以下B型）、長崎地域若者サポートステーション（以下サポステ）（厚労省）校内居場所カフェ（助成金）があり、事業だけではなく長崎県から指定支援機関として認定されるなど法人の立場としても連携が取りやすくなっている。また、上記すべての委託事業を同じ事務所で実施できるようにしたことで、組織の基盤固めが進んでいる。

更に、予定よりも遅れつつも共同生活援助事業「シェアホームおえん」が12月1日より開所。2020年度末で6名が入所し、順調に事業は進んでいる。入居者も困難を抱えつつも保護者との関係で苦しんでいるものが多くおえんの必要性を改めて痛感し、社会的意義の高い目的を持った事業である。

しかし毎年度同じ報告をしているが、依然として認定NPOを取得したにも関わらず寄付はそれほど増えておらず、スタッフからの寄付が占める割合が高い。以上のことから、ポジティブな面としては長崎にてワンストップ型での支援が更に拡充されていると同時に、以前として財政的な基盤は脆いため今の支援が継続できる資金体制作りが求められる。ただし、財政的な基盤構築の一助として、返済が終わる15年後には財政の改善化が大きく図れるものと計画している。

2 事業の実施に関する事項

(1). 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数(件数)	事業費の金額(千円)
訪問相談事業	・訪問 ひきこもり当事者及びその家族を対象にした個別の相談及び訪問支援	通年	長崎市とその近郊の市町	3名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者及びその家族利用者延 187名	404千円
自立支援事業	・居場所 ひきこもり当事者等を対象にコミュニケーショントレーニング	週1回	事務所他 長崎市近隣	2名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等利用者延 104名	2,713千円
	・清掃ボランティア ひきこもり当事者等を対象に清掃活動を通し経験の再体験の場を提供	週1回	事務所他 長崎市近隣	1名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等利用者延 20名	
	・七色クローバー ひきこもり当事者等が中心となり絵等を描き作品を作り、不定期で地元イベントへの出店を行う	週1回	事務所他 長崎市近隣	1名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等利用者延 72名	
	・家族会 家族に対し、情報交換や交流の場の提供	月1回	事務所他 長崎市近	2名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者及びその家族	0千円

			隣		利用者延 60名	
	・人形劇団しんじょう 保育園等の園児に対し防災教育を行う	週1回	事務所他 長崎市近隣	1名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 461名	5千円
	・就労体験 サポステで職場体験を実施しているため、法人としては未実施	通年	事務所他 長崎市近隣	-名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 -名	0千円
	・心澄団らん 就労後に再孤立化しないために、夕ご飯を共にする時間を提供	通年	事務所	3名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 89名	52千円
	・来談 心澄事務所に来て、自由に過ごす。また、希望により各種活動に参加	通年	事務所他 長崎市近隣	1名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 780名	0千円
	・相談事業 (ゆめおす)	通年	事務所他 長崎県内	5名	長崎県域 相談件数 6,784件	15,604千円
	・相談事業 (長崎・五島若者サポートステーション)	通年	事務所	名	長崎県域 相談件数 6,561件	47,349千円
	・校内居場所カフェ事業	通年	こころ未来高等学校	2名	こころ未来高等学校在校生 利用者延 150名	687千円
ひきこもりに関する周知セミナー等事業	外部講演等 ※実施したが未集計	通年	長崎県内	2名	長崎県域 聴講者数延 1名	200千円
	定時制・通信制高校等合同説明会	2020.11.14	長崎県庁	スタッフ8名 ボランティア 27名	長崎県域 来場者計 234名	
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業(就労継続支援B型)	・就労継続支援B型 しんじょう 現時点で一般就労が難しい障害を持つ方々に就労の機会を提供するとともに、その能力の向上に必要な訓練等を行う。	通年	事務所他 長崎県内	4名	長崎県内在住の障害者 利用者延べ4,201名	21,383千円
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業(共同生活援助)	・GH 18歳以降の虐待の影響下にある者を主な対象として実施し、死なない生き方と、生き方の獲得を目指す。	通年	おえん事務所他 長崎県内	3名	長崎県内在住の障害者 入居者延べ6名 (施設開設前のため)	8,581千円

(2). 前年度比

(人)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	前年度比	
訪問	136	147	153	187	122%	
居場所	200	126	215	104	48%	
家族会	85	118	91	60	66%	
人形劇	541	439	364	461	127%	
清掃ボランティア	110	92	73	20	27%	
七色クローバー	33	67	79	72	91%	
来談	918	1,031	1,072	780	73%	
心澄団らん	120	142	117	89	76%	
外部講演等	607	416	1,966	-	-	
その他	216	60	47	37	79%	
校内居場所カフェ			253	150	59%	
相談事業	ゆめおす	4,391	5,173	5,425	6,784	125%
	長崎サポステ			3,674	6,561	179%
	五島サポステ			863	2,911	337%
B型	3,039	3,192	3,550	4,201	118%	
総計	10,491	11,093	17,944	22,417	125%	

※就労体験はサポステ事業として実施しているため、未集計

※外部講演等実施したが未集計